

【H18年度】設計課題 「地域に開かれた絵本作家の記念館〔鉄筋コンクリート造(ラーメン構造)2階建〕」

1. 設計条件

ある地方都市において、その地域出身の著名な絵本作家の絵本や原画等を近隣の児童や住民が気軽に閲覧や鑑賞ができるようにするとともに、絵本の創作教室の開催等を通じて地域に開かれた記念館を計画する。

計画に当たっては、次の①～③に特に留意する。

- ① 隣接する公園からも利用できるようにする。
- ② 展示室は、公園側に配置し、吹抜けを設ける。
- ③ 屋外テラスを設け、展示室と直接行き来できるようにする。

(1) 敷地

- ア. 形状、道路との関係、方位等は、下図のとおりである。
- イ. 第一種住居地域内にあり、防火地域及び準防火地域の指定はない。
- ウ. 建ぺい率の限度は60%、容積率の限度は200%である。
- エ. 地形は平坦で、道路、隣地及び公園との高低差はなく、地盤は良好である。
- オ. 公園から敷地への出入口は、適宜設定できるものとする。
- カ. 電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。

(2) 構造、階数及び建築物の高さ

- ア. 鉄筋コンクリート造(ラーメン構造)2階建とする。
- イ. 建築物の最高の高さは10m以下、かつ、軒の高さは9m以下とする。

(3) 延べ面積

必ず「260㎡以上、290㎡以下」とする。
(ピロティ、玄関ポーチ、屋外テラス、駐車スペース、駐輪スペース等は、床面積に算入しないものとする。)

(4) 人員構成等

館長1名、事務員2名、ボランティアスタッフ(常時2名で交代制とする。)

(5) 要求室

下表のすべての室は、必ず指定された設置階に計画する。

設置階	室名	特記事項
1階	エントランスホール	・ 履物は履き替えないものとする。
	展示室	ア、30㎡以上とし、吹抜け(10㎡以上)を設ける。 イ、絵本やその原画を展示する。 ウ、屋外テラスと直接行き来できるようにする。
	収蔵庫	ア、5㎡以上とする。 イ、展示室に隣接させる。
	休憩・談話コーナー	・ テーブル(いす6席程度)、自動販売機を設ける。
	事務室	・ 15㎡以上とし、受付カウンターを設ける。
	更衣・休憩室	ア、6㎡以上とし、給湯コーナーを設ける。 イ、事務員等の更衣・休憩等に使用する。
	多目的便所	・ 男女別に設ける。 ア、広さは、心々2,000mm×2,000mm以上とする。 イ、出入口の幅の内法は、800mm以上とする。 ウ、高齢者・身体障害者・妊婦のほか、乳幼児を連れた人等が使用する。
2階	創作室	ア、30㎡以上とし、円卓(直径1,500mm)を2卓以上設ける。 イ、絵本の創作教室等に使用する。
	児童図書室	ア、20㎡以上とする。 イ、開架式とする。
	スタッフ室	ア、6㎡以上とし、給湯コーナーを設ける。 イ、ボランティアスタッフの更衣・休憩等に使用する。
	倉庫	・ 5㎡以上とする。
	授乳室	・ 4㎡以上とする。
	便所	・ 男女別に設ける。

(6) 階段、エレベーター及びスロープ

- ア. 建築物に、2以上の階段を設ける必要はない。
- イ. 建築物内に、必ずエレベーター1基を設ける。
 - ・エレベーターシャフトは、心々2,000mm×2,000mm以上とする。
 - ・駆動装置は、エレベーターシャフト内に納まるものとし、機械室は設けなくてよい。
 - ・乗降ロビーは、心々2,000mm×2,000mm以上とする(廊下と兼用してもよい)。
- ウ. 建築物内または敷地内の通路の計画において高低差が生じる場合は、必要に応じてスロープ(勾配は、建築物内1/12以下、敷地内1/15以下)を設ける。

(7) 屋外テラス、駐車スペース及び駐輪スペース

屋外に、下表のものを計画する。

名称	特記事項
屋外テラス	・ 15㎡以上とし、外部から直接入れないものとする。
駐車スペース	ア、利用者用の駐車スペースは、近くにあり、計画しなくてよい イ、車いす使用者用として1台分(幅3.5m以上とする。)、サービス用として1台分を設ける。
駐輪スペース	・ 自転車10台分を設ける。

2. 要求図書

- a. 下表より、答案用紙の定められた枠内に記入する(寸法線は、枠外にはみ出して記入してもよい)。
- b. 図面は黒鉛筆仕上げとする(定規を用いなくてもよい)。
- c. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛は、5mmである。
- d. シックハウス対策のための機械換気設備等は、記入しなくてよいものとする。

要求図書 ()内は縮尺	特記事項
1階平面図兼配置図 (1/100)	ア、敷地境界線と建築物との距離、建築物の主要な寸法を記入する イ、道路・公園から建築物への屋外通路、門、塀、植栽、屋外テラス、駐車スペース、駐輪スペース等を記入する。 ウ、室名を記入する。 エ、要求室には、次のものを記入する。 ・ 休憩・談話コーナーに、テーブル、いす、自動販売機 ・ 事務室に、受付カウンター ・ 更衣・休憩室に、流し台 ・ 便所に、洋式便器、洗面器 ・ 多目的便所に、洋式便器、手すり、洗面器、おむつ替え用台 オ、断面図の切断位置を記入する。
2階平面図 (1/100)	ア、建築物の主要な寸法を記入する。 イ、室名を記入する。 ウ、要求室には、次のものを記入する。 ・ 創作室に、円卓、いす ・ 児童図書室に、テーブル、いす、書架 ・ スタッフ室に、流し台 ・ 便所に、洋式便器、洗面器 エ、1階の屋根伏図(平家部分がある場合)も記入する。 オ、断面図の切断位置を記入する。
立面図 (1/100)	・ 北(公園)側立面図とする。
断面図 (1/100)	ア、切断位置は、1階の展示室の吹抜け及び1階・2階それぞれの開口部を含む部分とする。 イ、建築物の外形、床面及び天井面の形状がわかる程度のものとし、構造部材(梁、スラブ、地中梁等)を記入する。 ウ、建築物の最高の高さ、軒高、階高、天井高、1階床高、開口部の内法寸法及び主要な室名を記入する。
面積表	ア、建築面積、床面積及び延べ面積を記入する。 イ、建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ、数値は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。
仕上表	ア、外部の主要な部位(屋根、外壁)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 イ、内部(展示室)の主要な部位(床、内壁、天井)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。
主要構造部材表	ア、主要な柱及び2階床大梁の断面寸法を記入する。 イ、主要な外壁及び2階床スラブの厚さを記入する。

